

# 外部サプライヤー管理義務 取引業務リスク

管理対象	管理内容	本件が重要である理由は？
標準業務手順書	<p>サプライヤーは、顧客の取引処理を行うための手順を説明した、文書化された標準業務手順書（SOP）を策定する必要があります。かかる取引処理には、業務を行うための手動管理、承認限度、上申手順、サービス水準合意などが含まれます。標準業務手順書は、プロセスを実施するチーム内に組み込む必要があります。スタッフは各自の責任に沿ってトレーニングを受ける必要があります。サプライヤーは少なくとも年に1度、すべての標準業務手順書を見直し、更新し、承認するものとし、重要な変更が発生した場合はいつでも修正しなければなりません。手順は、作成者とは無関係に十分な権限を与えられた者によって承認され、レビューと承認を示す証拠が保持される必要があります。</p>	<p>顧客取引処理に関連するリスクを低減するため、顧客取引が正確かつ適時に、合意された限度内で確実に処理されるようにする必要があります。また、標準業務手順書が作成されなかった場合、従業員が顧客取引を処理する際に自らの責任を認識できなくなることがあり、Barclays は、サプライヤーが顧客取引処理に関連するリスクに対応するための文書化された適切な手順書を備えているという確証を得ることができない場合があります。</p>
顧客取引処理の正確性と完全性	<p>サプライヤーは、取引全体を通じて顧客の取引すべてが正確で完全であるようにする必要があります。サプライヤーは、不正確または不完全な処理のリスクを低減し、職務分離の効果的な水準を確保するための検証管理体制を整える必要があります。サプライヤーは、以下の予防的および検出的管理を適切に組み合わせて実施することにより、このリスクに対処しなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 取引完了前のメーカーチェッカー/二重認証管理。</li> <li>● 取引が正当な権限を有する同僚によって承認されることを確実にするための権限の制約</li> <li>● 照合処理 - 取引の重複や誤りを監視するために、関連する総勘定元帳に対して日次で照合される顧客の記帳および記録。</li> <li>● 例外レポートは、事前に定められた頻度に従って作成する必要があります。特定された例外は、所定の期間内に適切な手続きによりレビューを行う必要があります。レビューおよび手続きの証拠を保持する必要があります。</li> </ul>	<p>この要件が実施されない場合、Barclays は、サプライヤーが顧客取引全体を通じて維持される顧客取引の完全性を保証するために十分な管理を設けているという確証を得ることができない場合があります。これにより、顧客取引が不正確または不適切に処理され、関連の風評被害および/または制裁金/譴責が発生する場合があります。</p>
顧客取引処理の品質保証	<p>定期的な独自の品質保証確認が行われている場合、サプライヤーは検査の頻度、サンプルの寸法および選択肢、製品またはプロセスのリスク評価、許容度または「合格」率、および文書による結果提出を含むフレームワークが必要です。検査は、処理の担当者とは別で実施しなければなりません。品質保証を実施する場合、サプライヤーは、少なくとも年1回、文書によるフレーム</p>	<p>この要件が実施されない場合、Barclays は、サプライヤーが、顧客取引が正確かつ適時に処理されていることを確実にするための適切な管理体制を備えているという確証を得ることができない場合があります。これにより、関連する風評被害および/または規制上の罰金/問責が発生する可能性があります。</p>

	ワークが整備され、見直され、最低要件を満たしていることを証明する必要があります。	
顧客取引全体を通じた承認	<p>サプライヤーは、取引の価値と性質に応じて、権限に制限を設けそれを文書化し、取引は正当な権限を持つ同僚が処理し、承認するようにしなければなりません。</p> <p>サプライヤーは、少なくとも年1回、またはプロセスに変更があった場合にそれらが適切であることを確認するために、権限のマニュアル制限とシステムベースの制限の両方を見直さなければなりません。</p>	この要件は、取引全体を通じて付与される異なるレベルの権限とビジネスで確立され承認された権限の委譲を整合させて、顧客取引指示の妥当性を確認するためのものです。この管理は、詐欺的な/不正な顧客取引、関連する風評被害、および/または規制上の罰金/非難に関連するリスクを緩和します

条件	定義
銀行	Barclays
お客様/顧客	当行の1つ以上のサービスを利用する、当行との既存の、以前の、または将来の関係を有する外部の当事者。この文脈において、この定義には投資家、株主、従業員、規制当局、サプライヤーなどのより広範な利害関係者は含まれません <u>(ただし既存の、以前の、潜在的なお客様/顧客および取引先は含みます)</u> 。
管理	管理とは、リスクを低減するために策定された、マニュアルによる、または自動化された作業または活動のことです。一般的には、複数の管理によって総合的にリスクが低減されます。
顧客取引/取引	お客様/顧客または当行のいずれかによって開始される、基礎となる金融商品（抵当、派生商品、取引商品等）を考慮したお客様/顧客と当行との間の取引の開始、処理及び履行のエンドツーエンドのプロセス。
検出的管理	管理は、プロセス内で発生した問題を検出することを目的としています。
二重認証/「メーカーチェッカー」	各顧客取引において、その完了に少なくとも2人の個人が存在しなければならないことを保証する2段階の検証。
例外	何か省略されたり、故意に行われなかったりすること。
権限の制限	合意された値まで顧客取引を処理する権限を与える、個人に対する承認
マニュアル	エンドツーエンドの取引プロセス内のある時点で人的介入が発生するもの。

予防的管理	エラーの発生を抑止もしくは防止すること、または損失を回避することを目的とした能動的管理。
品質保証	サービスが品質基準を満たしているかどうかを判断するために使用される体系的なプロセス。
品質保証フレームワーク	品質を監視する方法。
照合	2つのデータセットを比較して、数値が正しく一致していることを確認すること。
体系的	仕組みに関係すること
標準業務手順書（SOP）	標準業務手順書とは、従業員が複雑な処理または日常的な処理を行う際に使用する手順を文書化したものです。SOPの目的は、効率、生産品質、統一性を実現するとともに、コミュニケーションのミスや業界規制への不適合を低減することです。
任務の分離	少なくとも2人の個人が顧客取引の別々の部分に責任を持つことを確実にすることによって、顧客取引における誤りと詐欺を防止するように設計された管理。
取引業務	顧客と当行との間の顧客取引（支払い開始、処理、履行）の業務処理（支払いを除く）。このリスクは、不適切または不正確な実行により、当行または当行の顧客に不利益、財務上の損失、または評判上の損害をもたらすものです。
取引業務リスク	取引業務リスクとは、お客様/顧客と当行との間の顧客取引の最終処理において、意図しないエラーや失敗が発生するリスクのことをいいます。